

米国コーブポイントLNGプロジェクトとの天然ガス液化加工契約および液化天然ガス売買に関する基本合意の締結について  
(IR補足資料)



2013年4月1日

## 「3つの多様化」の実現

- 本件は、安定的かつ安価なLNGを日本に導入するための原料調達に関する「3つの多様化」を実現する取り組みです。

＜当社の原料調達戦略における「3つの多様化」と本件＞

「多様化」	「多様化」の内容	従来	本件
①調達ソース	どこから調達するか？	アジア・オーストラリア中心	米国
②契約条件	どのように価格・期間・輸送・仕向地等を決定するか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油連動中心</li> <li>・長期契約中心</li> <li>・仕向地限定的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘンリーハブ連動価格</li> <li>・仕向地自由</li> <li>・FOB:柔軟性確保</li> </ul>
③LNGのグローバルネットワーク	どのようなネットワーク（バリューチェーン）か？	輸出国と日本の取引中心	グローバルなガス田・発電所等を結ぶネットワーク化（欧州・日本）

## 「3つの多様化」の実現に関するポイント

- 米国から日本への輸出可能性についてどのように考えているのか？また、輸出許可が下りなかった場合はどうなるのか？

→政府間での働きかけもあり、順次承認されていくものと考えています。

- グローバルネットワークをどのように実現していくのか？

→基本的に本件LNGは日本への輸入を前提としますが、本年2月に設立したティージープラスを通じたLNGの転売によりグローバルネットワークの展開を行うことができます。

- 米国市場からガスを購入する際に、ヘンリーハブが高騰するリスクを負うのではないかと？

→①将来におけるヘンリーハブ高騰リスクは限定的と考えています。

②本件の本来目的は多様化による安定的かつ安価なLNG調達のポートフォリオ構築であるため、ヘンリーハブ

が高騰しても本件の意義は変わりません。

③なお、ヘンリーハブ高騰時には、バーネット権益におけるガス販売収入が増加することでTGグループ全体の

の収益を一部安定化することができます。

- 先日発表したバーネット上流権益から産出されたガスを液化するのか？

→本件ではPSE社が最適なガスを調達していくため、バーネット権益とは別スキームです。

## ◆今後当社が目指す姿

